

なぎそ 議会だより

令和8年 7月臨時会

広報

議会だより

公民館報

南木曽町議会による 住民懇談会

住民懇談会に
お出かけ
ください

みなさんの
声を
お聞かせ
ください



とき 令和8年 **10月7日(水)**

受付 午後6:00～

懇談会 午後6:30～8:00

ところ 南木曽会館 ホール

内容 「地域の現状やお困りごと」
など

小グループに分かれて、みなさんと
自由に意見交換を行います。

〳 託児所もご用意しています 〳



HPでは過去の
議会だよりも読む
ことができます。
議会の日程など
も随時更新します
のでご覧ください。

☆ 各種報告	14 P
木曽郡町村議会議員総会	
リニア新幹線対策特別委員会	
国道256号改良促進特別委員会	
経済観光常任委員会	
木曽広域連合議会	
★ 7月臨時会 可決議案一覧	14 P
☆ 令和8年度 7月補正予算	13 P
7月14日に7月臨時会を開催しました。	

7月臨時会 目次

補正予算審議概要

令和8年7月補正予算（一般会計）が審議され、可決されました。審議の主な質疑を掲載します。

6月25日～27日
豪雨災害について

●田立の降水量

●今回の田立の雨量の観測値は。

●24時間最大降水量は145mm、1時間最大では33mmです。

●倒木危険箇所の事前把握は

●和合妻籠線の災害復旧に60万円を要しているが、災害発生後に対応するより、危険箇所を事前に把握し道路沿いの支障木等を早めに処理した方が費用を抑えられるのではないかと。

●倒木の危険性がある箇所はパトロールで事前に把握し対応するとともに、危険箇所が多いので建設環境課・産業観光課と連携し、計画的な伐採を進めて

いきたいと思っています。

●枯損木への対応

●ナラ枯れは2020年から2021年にかけて道路や住宅付近も含めた町内各地で多数発生し、さらにはマツ枯れもある。今回の災害でも、こうした枯損木が倒れて斜面が崩壊している状況があるが、町民からあらかじめ危険な箇所の報告を受けて対応してきているかと思う。今後に向けて議論されていることはあるか。

●今回の山腹の崩壊は枯損木による影響も見られるかとは感じています。マツ枯れとナラ枯れについては順次対応していく予定です。が、全町的な視点で事業化していく必要があるとは考えています。

●枯損木への事前対策として、ライフライン等保全対策事業などを活用し、危険木を除去することは可能か。

●ライフライン等保全対策事業で危険が予測される箇所は予算の範囲内で計画的に対応し、予期せぬ箇所が発生した場合は、その都度対応していきたいと思っています。



倒壊した枯損木

●橋場地区の斜面崩落箇所

●以前妻籠地区でも大雨による災害が発生し、橋場地区の蘭川沿いの斜面が大規模に崩落したままの状態だ。観光客の目に留まる場所であり、今後の大雨も心配されるので迅速な対応を。

●河川管理者である木曾建設事務所では人家等の災害箇所を優先しています。また河川関係は崩落箇所が多く手が回らない状況ですが、危険箇所のため引き続き要望していきたいと思っています。

●リニア発生土置き場尾越の活用について

●今後の災害の備えとして、尾越の発生土置き場完成後の平地について蘭、広瀬の住民から「ヘリポート」として利用してほしいとの要望がある。町としての構想は。

●町事業ではなくJR東海の所有地となります。活用方法は現時点では決まっていますが、JRとの話し合いの中で要望は伝えていきたいです。意見として今後の活用検討の参考にしたいと思っています。

物価高騰対策としての商品券配布

●商品券配布事業を選

●んだ理由

●物価高騰対策はありがたいが、商品券の配布にした理由を伺う。

●物価高騰対策として国で重点支援交付金1千億円が補正され、南木曾町には441万9千円が内示されました。

●昨年度のような全ての町民に1万円給付する事業は、今回内示額ではできないため、物価高騰の影響が大きい低所得世帯と、物価高騰で支出が増える子育て世帯に限定して商品券を配布する事業としました。

●対象者は、非課税世帯と均等割非課税の住民が450件ほど、子どもがいる世帯関係が222件ほどになります。

●今回の商品券の金額はどうなるか。

●これまでは500円、300円の商品券を使っていました。なるべく迅速にという観点から、既存の商品券

を活用する方法が考えられるため、配布時期等も含めて打ち合わせしていく予定です。

●繰越金が無かった場合の物価高騰支援の財源

●繰越金が決算の見込みで1千万円増加となっており、物価高騰に対する支援の財源に充てるということだが、この繰越金の見込みがない場合の財源はどうなるか。

●財政調整基金を活用することになるかと思っています。

●物価高騰対策の引き続きの支援を

●要望 物価高で生活は大変であり、支援をしていく必要がある。もっと幅広い支援が必要であるが、国からの交付金は約442万円で非常にわずかな額である。今も物価高は続いており、引き続きの支援を要望する。

令和8年 7月臨時会 可決議案一覧

○：賛成挙手 ×：挙手せず

予算関連議案		山下	藤原	伊藤	近藤	矢澤	松原	坂本	山崎	高橋
●令和8年度 補正予算	一般会計（第3号）の補正は、1,441万9千円増額し、総額42億4,125万1千円となります。	○	○	○	○	○	○	○	○	○
一般議案										
●令和7年度坪川橋災害復旧工事請負契約の変更について	変更前の金額：64,020,000円 変更後の金額：65,340,000円 契約の相手方：大宗土建 株式会社 代表取締役 杉山 一樹	○	○	○	○	○	○	○	○	○
専決処分事項の承認										
●令和8年度 補正予算（第2号）	6月25日～27日豪雨災害に伴う災害復旧のために、歳出予算款・項間を組み換えたものです。	○	○	○	○	○	○	○	○	○

報告 令和8年度 木曽郡町村議会議員総会

7月31日(金)、上松町ひのきの里総合文化センターにおいて、令和8年度木曽郡町村議会議員総会が開催されました。

総会では今年議員歴10年目を迎えた伊藤寿子議員と近藤隆議員が自治功労者表彰を受けました。

総会議事では前年度決議事項の処理報告に続き、各町村議会と町村議会議長会から下方枠内に示す8つの議題が提案され承認されました。

南木曽町議会からは山下航議員が発表者となり、昨今の情勢から「食料安全保障」を重視し、木曽地域の「食料自給力」と「食料生産力」を維持・向上させるために県や国の支援を要望する提案をしました。

研修会では菅野典雄氏（福島県飯舘村 前村長）を講師として迎え、「全村避難を経験した飯舘村の地域づくり」の講演を受けました。



△自治功労者表彰を受ける伊藤議員



△同じく表彰を受ける近藤議員

▽講演する菅野典雄氏



- 総会提出議題
- 農地の保全と担い手育成について（木曽町議会）
 - 有害鳥獣対策について（上松町議会）
 - 物価高騰に負けない！木曽郡の農業と農村の維持・向上を（南木曽町議会）
 - 効率的な水道事業の維持管理対策について（木祖村議会）
 - 木曽地域における空き家対策の強化について（王滝村議会）
 - 木曽地域防災強化について（大桑村議会）
 - 木曽地域の医療体制について（木曽郡町村議会議長会）
 - 木曽地域の道路交通網の整備と木曽川の治水対策について（木曽郡町村議会議長会）



△提案する山下議員

委員会報告 リニア新幹線対策特別委員会

審査日時：令和8年8月2日(日) 午前9時から

審査場所：南木曽町内発生土置き場（尾越）

審査内容：5月20日のリニア対策協議会での意見により、リニア中央新幹線対策協議会の呼びかけで旧特殊精磁工場跡地で行われている発生土置き場の盛土工事の現地視察が実施されました。

出席者：議会特別委員会委員5名、対策協議会委員及び町職員を含めた合計19名でした。

審査事項（映像を用いた発生土置き場の状況説明）

○南木曽町内発生土置き場（尾越）の状況説明

面積は約1.6万㎡、計画土量（県承認）約9万㎡、最大高さ約23m、盛土勾配は1：2.0。現在までに、発生土約3万㎡を盛土している。

審査事項（現地視察）

○補強材を用いた盛土工事並びに排水処理の現地状況を視察し、現地で個別に質疑応答を行いました。

（報告：山崎隆二 委員長）



盛土最下部に設けられた排水処理施設



造成中の盛土全景

委員会報告 国道256号改良促進特別委員会・経済観光常任委員会

7月6日(月)に、国道256号改良促進特別委員会、経済観光常任委員会と町の担当部署の三者合同で、木曽建設事務所と現地視察・意見交換会を開催しました。

●国道256号改良促進特別委員会の報告

現在工事が行われている漆畑拡幅3工区と国道256号の全般を視察しました。

漆畑改良では約7万㎡と予想される残土処理場が解決しておらず、工事は進んでいないが方向性が見えてきたとのことでした。

国道256号は全体的に路面状態が悪く、早期の改修を要望しました。また、くらがり沢橋付近では歩道がなく、視距改良の観点からも早期の改修が必要と確認しました。妻籠第3駐車場上の落石現場を確認し対策をお願いしました。

現在国道256号はリニア発生土運搬が行われており、安全な通行が求められています。要望箇所を含めた早期の改良改修を木曽建設事務所に要望しました。



（報告：高橋 進 委員長）

●経済観光常任委員会の報告

現地視察箇所

- ・木曽川右岸道路
- ・高瀬橋
- ・富貴畑事業伐採現場（リニア関連）



- ・主要地方道中津川南木曽線 滝上橋
- ・主要地方道中津川田立線 県境
- ・1級河川 坪川橋災害復旧

●議員から出された主な質疑・意見等

Q高瀬橋を右折する時、大型車両は大丈夫なのか。

→**A**電柱を移動させたため問題ありません。

Q出来上がりはいつになるか。

→**A**およそ2年半後です。

情報交換会には多くの木曽建設事務所の方々に参加していただきました。現場視察をはじめ感謝申し上げます。（報告：矢澤和重 委員長）

報告 木曽広域連合議会（学習会）

7月15日(水)に木曽地域治水対策協議会が開催され、「木曽地域の河川について」と題した岩垂 宏明 木曽建設事務所長による講演を拝聴しました。（報告：高橋 進 議員）